

秘

電信寫

外交官交換

昭和四 五二九八 晴

上海 四月九日 午後
不省 九日 夜着

東京 外務大臣

堀内 總領事

第七七五號

外交官等交換關係和蘭領事館員ニ關シ
照會シ件

附置第四五二號ニ關シ

何レモ當地ニ在勤シ家族居ラス猶 當該の「トレイド・コンミッショ

ナリ

(一)

REEL No. A-1184

0248

アジア歴史資料センター

秘

昭和

九八九四

略

廣東 四月九日後發
本省

十日午前

歐

京郷外務大臣

高津總領事

第二九六號

(英米外交官交換ニ關スル件)

貴電第二二〇號ニ關シ

英國總領事館「フアレル」ノ妻ハ戰前既ニ歸國シ居ルヲ以テ該記
セルモノナルカ印度人監視人ハ同國租界工部局巡警ニシテ同館專
任監視人ニ非ス現在支那側特別區ニ引越カレ居リ又米國總領事館
書記「ミス、ウィルソン」ハ同「タイピスト」「ミス、スミス」
ノ後任ナリ「テイラー」及「デニツク、フオング」ハ從來同館ヨ

電信寫

リ公式ニ通報無カリシ爲記號洩レトナリ居ルニ付テハ右御了承ア
リ度シ(了)

秘

昭和17 九一三 時

芝罘 四月九日午後
本省 十日前着

歐

東郷外務大臣

長岡領事

第七七號

(在支被交換敵國人上海集結ニ關スル件)

青島發北大宛電報第六六號ニ關シ

本件ニ關シテハ青島宛往電第一三號(大臣、上海ニ轉電)ニ對シ
青島發本官宛電報第八號(上海ニノミ轉電シアリ)四日到着シ英
米領事等ノ樂山丸乗船ニハ青島軍團ニモ異議ナク當地部隊ヘ指令
濟ナルコトヲ知リシ一方三日當地部隊及特務機關ニモ「敵國領事
館員及歸國希望ノ敵國人ハ二十五日迄ニ上海ニ到着スル如ク我方

電信寫

外交機關ニ於テ處理中ニ付努メテ多ク歸國セシムル如ク指導セヨ」
ト入電アリ且ツ旅行許可證發給方ニ關シテモ別電ニテ指示アリシ
由ナリシヲ以テ當然領事以外ノ者ヲモ加ヘテ差支無シト思考シ安
心シテ全部二十六名ヲ乗船方萬端ノ準備ヲ爲サシメタル矢先五日
午後ニ至リ「利通號」ニ乗船セシムヘキニ付暫ク待タセヨ」トノ電
報ニ接シタル旨部隊ヨリ電話アリシカ外人團ニテハ切符ノ購入荷
物ノ送付税關關係等モ手配済ナリシヲ以テ乗船中止ノ實行ハ甚ク
困難ナル時期トナリ居リシノミナラス少數宛ナリトモ便船アル毎
ニ利用セシムルコト得策ナル筈ニテ強テ中止セシムルニ於テハ努
メテ多クヲ歸國セシメントスル軍團方針ニ悖ル結果トナル惧アリ
ト思考シ此ノ趣旨ニテ説明シ納得ヲ得テ(其ノ旨ハ隊ヨリ直ニ青

祕

電信寫

島ニ電報シタル管一出發セシメタルモノナリ
往電第七一號補足旁御參考迄
北大、青島、上海、威海衛へ轉電セリ

REEL No. A-1184

0251

アジア歴史資料センター

秘

昭和17 九八八〇 略

青島 四月九日後發
本省 十日午前

歐

東郷外務大臣

高瀬總領事

第一六七號

(引揚米英人出陸ノ件)

本官發南大宛電報

第四號

北大發本官宛電報第三八號並ニ本官發北大宛電報第六六號ニ關シ
一行二六名ハ七日上陸セシメ不取敢一時の便法トシテ觀光「ホテル」ニ宿泊セシメ居リ軍ノ許可アリ次第最近便ニテ上海ニ發出シ
タキ處冒頭北京來電前段ニ付テハ既ニ上海發北大宛電報第四〇號

電信寫

次第アリ其ノ間何等行進ヒアルモノト思ハルルニ付貴方ニ於テモ
更メテ總軍ニ連絡方至急御取計相煩度シ
大臣、北大、上海、芝罘、威海衛へ轉電セリ

外交官交換

秘

昭和十七年九月八日

光化門

四月九日

歐

東京外務大臣

鈴木司政局長

第五〇號

（外交官等交換ニ關スル件）

第四九號ニ關シ

一、利益代表ニ對シ英國總領事館建物其ノ他ノ引越未了ノ債英國總

領事館員ヲ内地ニ送還シ差支無キヤ

ニ送還ニ要スル費用ハ立替ヘノ方法ニ依ル事困難ニ付引揚者ヲシ

テ自辨セシムルコトト致度シ（了）

電信寫

秘

昭和十七年九月八日

東京

四月九日

歐

東京外務大臣

高津總領事

第二九四號

（外交官等交換ニ關スル件）

當地東亞海運ヨリ崇山丸ニ乗船セシムヘキ敵國人ハ當地五一、油

頭及廈門二三計七四ト決定セル旨東京本社ヨリ入電アリタル趣運

絡越シタリ、右ハ貴電合第五一三號ノ結果ニ依ルモノト存セラルル

處當地ヨリ乗船セシムヘキ敵國人ハ往留第二七九號ノ趣リ七二名

（七六名中四名其ノ後取消シ）ニシテ已ニ萬般手配ヲ了シ乗込ヲ

待ツノミトナリ居レルニ付此ノ點至急同本社ヘ御通知アリ度シ

電信寫

秘

電信寫

外交部事務次長

昭和17 五三〇三三 略 天津 四月十日 後發 歐
本省 十日 夜着

東郷外務大臣 加藤總領事

第一五八號

(半英トノ外交官等交換ニ關スル件)

貴府合第五八五號ニ附シ

一、當地白耳義利徐代表ヨリ當地居住「カトリック」僧侶(白耳義

人)在支白耳義大使ノ「シヤブレイン」ナル處ヲ以テ大使ト同

行引揚許容方申出アリタル處右ハ同大使ノ從者ト認メ引揚許容

差支無キヤ

二、當地白耳義總領事カ無國籍「ロシヤ」婦人ヲ從者トシテ同行差

支無キヤ

三、英領領事館職員就ニ「タイピスト」(何レモ現狀採用)中歸國

ヲ希望セサル旨申出居ル者アリ右ヲ如何ニ取扱フヘキヤ

右御回電請フ

北大へ轉電ゼリ

秘

昭和17 九 九 五 八

昭和十七年十月十日 陸、海、外務省

東洋外務大臣

第三〇〇號

(通達) 支那人僑居方諸島ニ出スル件

當地領事官等ハ通達及ヒ廈門ノ領事官等ハ十月二十日發出ル
豫定ナル鹽山丸(二時八三時五〇)ニ乗リ方諸島ノ領事官ニ送ラ
ル運ナルカ現在當地ニハ客年十二月末以來船隻通達ニ依リ足止メ
餘餘時クセラレ馬ル僑居人一三船西人一丁洋人一行客員一人計一
六アリ

電信寫

通達后トシテハ各島ノ客員同船ニ乗セ運送方諸島シテ馬ルノミナラ

ス港方トシテモ尙該國領事ヨリ曉シテ便船降陸方申渡シ居レル夫
第モアリ右般般計七隻ノ中何分ノ後回電アリ更シ
上海、廈門、汕頭へ電達セリ

外務省交換

外機密

昭和17 五三〇三六 暗

漢口 四月十日午後
本省 十日夜着

歐、亞

東郷外務大臣

田中總領事

第一一號

(米英トノ外交官等交換ニ關スル件)

上海發貴大臣宛電報

第六四五號ニ關シ

御方針決定ノ上至急御同電ヲ請フ

南大、上海へ轉電セリ

電信寫

秘

昭和17 五三〇一九 暗

上海 四月十日午後
本省 十日夜着

東郷外務大臣

田中總領事

第七七九號

(外交官等交換ニ關スル件)

貴電第四四四號ニ關シ

御指示ノ番號ニ對スルハ迄ハ何レモ英大使館又ハ領事館員ナリ何

第一三四號往復附屬ハ一部添付済ナル事發見セルニ付郵送ス

(了)

電信寫

外務省

(日本標準規格 B5)

付う… 貴官御裁量ニ依り 船室ノ止置候り付
レタク乃止り得レ… 汕頭ノ至厦門以降
船室ハ我等モ同様に御取計アリタシ

(分類

電
信
案

外
務
省

・(日本標準規格B5)

懸案

電送第 13053 號

昭和 7 年 4 月 〇 日 前夜 7 時 25 分發

	件	名	施
--	---	---	---

在廣東
高津總領事
外交官尋交換
關不件

配録件名	發
------	---

豐 申 大 臣

主管
歐亞局長

主任 第三課長

昭和十七年四月十日起草

電信課長

發電係

0 98

懸案

東亞局
第一課長

(分類)

電信案	貴電五号ニ関シ	船室ノ餘裕無キニ付拒否セラルル事ハ得ザレシ	昭和十七年五月六日	電送第1625号	主管 東亞局長
				件名宛	在澳門 福月領事代理
外務省	第一三三號	記録件名	發	件名宛	在澳門 福月領事代理
				件名宛	在澳門 福月領事代理

(日本標準規格Bの)

懸案

(分類)

電信案	右第六五二號	廣東省電報二二九号 具體對電ノト	昭和十七年四月十日	電送第13054号	主管 歐亞局長
				件名宛	在厦門 石川總領事 在汕頭 高井領事 外交官等交換ニ関スル件
外務省	第三三課長	記録件名	發	件名宛	在厦門 石川總領事 在汕頭 高井領事 外交官等交換ニ関スル件
				件名宛	在厦門 石川總領事 在汕頭 高井領事 外交官等交換ニ関スル件

(日本標準規格Bの)

REEL No. A-1184

0259

アジア歴史資料センター



LEGACIÓN DE ESPAÑA
TOKIO.

Tokio, le 20-avril, 1942.

Nº 20/40

大野
歐亞局長

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur de recourir à l'habituelle obligation de Votre Excellence en la priant de vouloir bien donner une réponse à ma Note, datée du 12 mars, relative à l'évacuation de Monseigneur Angel de Olano, Evêque Catholique de Guam, et de son Secrétaire Rd. Père Julien Jauregui Arenzabal.

Comme d'après les informations reçues l'évacuation des personnes comprises dans le plan américain, va être bientôt effectuée, je serais très reconnaissant à Votre Excellence, si Elle voulait me communiquer la décision du Gouvernement Impérial afin de la transmettre aux personnes intéressées et à mon Gouvernement.

Je suis heureux de saisir cette occasion pour renouveler à Votre Excellence, Monsieur le Ministre, les assurances de ma plus haute considération.

Santiago Menéndez del Río

Son Excellence

Monsieur Shigenori Togo

Ministre des Affaires Etrangères



T O K I O.-



日本、滿、支、佛印、泰、香港ニ在ル外交官及領事官
ヲ第一次交換船ニ乗船セシムルコトニ異議ナシ

1、日本及日本占據下ノ地域ニ在ル外交官、領事官、新聞通信員及赤
十字代表ヲ全部例外ナク第一次日米兩國民交換船ニ乗船セシムル
旨ノ帝國政府ノ確認ヲ至急受取りタシ

2、新聞通信員ハ Hill. Dyman. Folischus. Whiteing. Bellaire. Cromley. Bellin.
Ger. Crichton. Tenelly 九名ナリ家族及従者ノ數及氏名ハ照會シタル上
通報スヘシ

3、支那ニ於ケル新聞通信員ハ家族ヲ含メ十五名ナリ其ノ氏名左ノ通
Harris. White. Ford. Keen. Oppen. Powell. Perkins. Bruce
(夫人ト
子共四名アリ) Goette (母アリ)

4、香港ニ在ル新聞通信員ハ左ノ六名
Wilson. Baxter. Alsop. Weisling. Miss Hahn. Miss Dew.

5、米國赤十字代表ハ左ノ五名
在上海 Anderson. Hanna

(日本標準規格B5)

外務省

日本、滿、支、佛印、泰、香港ニ在ル外交官及領事官
ヲ第一次交換船ニ乗船セシムルコトニ異議ナシ

1、日本及日本占據下ノ地域ニ在ル外交官、領事官、新聞通信員及赤
十字代表ヲ全部例外ナク第一次日米兩國民交換船ニ乗船セシムル
旨ノ帝國政府ノ確認ヲ至急受取りタシ

2、新聞通信員ハ Hill. Dyman. Folischus. Whiteing. Bellaire. Cromley. Bellin.
Ger. Crichton. Tenelly 九名ナリ家族及従者ノ數及氏名ハ照會シタル上
通報スヘシ

3、支那ニ於ケル新聞通信員ハ家族ヲ含メ十五名ナリ其ノ氏名左ノ通
Harris. White. Ford. Keen. Oppen. Powell. Perkins. Bruce
(夫人ト
子共四名アリ) Goette (母アリ)

4、香港ニ在ル新聞通信員ハ左ノ六名
Wilson. Baxter. Alsop. Weisling. Miss Hahn. Miss Dew.

5、米國赤十字代表ハ左ノ五名
在上海 Anderson. Hanna

(日本標準規格B5)

外務省

日本、滿、支、佛印、泰、香港ニ在ル外交官及領事官
ヲ第一次交換船ニ乗船セシムルコトニ異議ナシ
1. 日本及日本占據下ノ地域ニ在ル外交官、領事官、新聞通信員及赤
十字代表ヲ全部例外ナク第一次日米兩國民交換船ニ乗船セシムル
旨ノ帝國政府ノ確認ヲ至急受取リタシ
2. 新聞通信員ハ Hill. Dymen. Tolischus. Whiteing. Bellaire. Cromley. Bellin.
Ger. Crichton. Fenelly 九名ナリ家族及従者ノ數及氏名ハ照會シタル上
通報スベシ
3. 支那ニ於ケル新聞通信員ハ家族ヲ含メ十五名ナリ其ノ氏名左ノ通
Harris. White. Ford. Keen. Oppert. Powell. Perkins. Bruce
子共四名ナリ) Goette (母アリ) (夫人ト
4. 香港ニ在ル新聞通信員ハ左ノ六名
Wilson. Baxter. Alsop. Weisling. Miss Hahn. Miss Dew.
5. 米國赤十字代表ハ左ノ五名
在上海 Anderson. Hanna

(日本標準規格B5)

外務省

在香港 Fifer. Gale. Johnson
6. 外交官、領事官、大公使館領事館ノ雇員及此等ノ者ノ家族従者ノ
全部ノ氏名ハ近ク追報ス
7. 右米國政府ノ要求ニ對スル帝國政府ノ決定的意圖ヲ承知致度シ

(日本標準規格B5)

外務省

在香港 Fifer. Gale. Johnson

6. 外交官、領事官、大公使館領事館ノ職員及此等ノ者ノ家族従者ノ
全部ノ氏名ハ近ク通報ス

7. 右米國政府ノ要求ニ對スル帝國政府ノ決定的意圖ヲ承知致度シ

外
務
省

(日本標準規格B5)

在香港 Fifer. Gale. Johnson

6. 外交官、領事官、大公使館領事館ノ職員及此等ノ者ノ家族従者ノ
全部ノ氏名ハ近ク通報ス

7. 右米國政府ノ要求ニ對スル帝國政府ノ決定的意圖ヲ承知致度シ

外
務
省

(日本標準規格B5)

REEL No. A-1184

0263

アジア歴史資料センター

秘

昭和十七年三月十七日

略

廈門
本省

四月十一日發
十一日後發
厭

東洋外務大臣

石川總領事

合第一八號

(外交官等交換ニ關スル件)

本官發油頭宛電報

第一〇號(至急)

廣東總大臣宛電報第二九四號ニ關シ

崇山丸ノ油頭、廈門乗船者割當數二三ノ中當地ニテ是非共一六(二)

等二、二等四、三等一〇(一)ヲ乗船セシメタキニ付留保相成度シ

尙一故歐國人被交換者ハ出發準備完了セルヲ以テ船席ノ許ス限リ

電信寫

乗船セシメタキ意圖ナリ

大臣、上海へ轉電セリ

昭和十七年三月十七日

祕

昭和17 五三〇九四 略

南京 四月十一日 夜發
本省

日高代理大付

東郷外務大臣

第四二一號

(引揚米英入出發ノ件)

本使發青島宛電報

第四號

貴國第四號ニ對シ

總軍ニ於テモ北京方面ニ對シ本件許可ヲ出ス様指令セル趣ナリ

大臣、廈門、上海(經)ハ電報セリ

電信寫

外交局支換

REEL No. A-1184

0265

アジア歴史資料センター

秘

昭和十七年四月十一日午後十一日

青島 四月十一日午後十一日 夜着 歐

東亞外務大臣

高瀬總領事

第一七〇號

(外交官等交換ニ關スル件)

本官發上海宛電報

第三〇號(至急)

往電合第六五號ニ關シ

當地軍ニ於テモ方面軍ト交渉中ナリシ處本十一日方面軍ヨリ許可

(中央ニ連絡シタル結果)ノ電報アリタルニ付明十二日當地出帆

廣東丸ニ一行全部ヲ乗船セシムルコトニシタルニ付ア、可然御手

電信寫

配相煩度シ

大臣、北大、南大、芝罘、威海衛へ轉電セリ

七中六ニ轉電スル
 娘並ニ「ロウ」リット及「バー」ンズニ而天人
 乗船出来に様取討方出先ニ討シ訓令スルコトナリタリ
 就テ「右」以合ノ上大使アリトシテ「ロ」ニ討シ「タ」ルノ様取討シ「四」ニカニタシ
 作「ロ」ニ「タ」ル「ロ」ニ討シ可然傳達アリ度必「ロ」アリ「ロ」ニ「タ」ル「ロ」ニ「タ」ル
 「ロ」ニ「タ」ル「ロ」ニ討シ「タ」ル「ロ」ニ「タ」ル「ロ」ニ「タ」ル「ロ」ニ「タ」ル「ロ」ニ「タ」ル
 電 信 案
 外 務 省

(日本標準規格 B5)

(分類 A.70.0:9-2.4)

電
信
案

外
務
省

(日本標準規格 B5)

暗	電送第	13243	號	主管
平略	昭和	年	月	日
	時	分	秒	
第	件	名	宛	
四	交換船二隻船の件	馬尼刺帶在中、難婦人、	上海	
八		堀田總領事		
六				
號				
(記錄件名	發		
	外交官の手交文	東郷大臣		
(

電信課長

發電係

三

肥壤濟

(分類)		電送第 15244 號		主管 東京局長	
		昭和 4 年 4 月 11 日 午後 5 時 30 分發	宛 東京	主任 東京第三課長	電信課長 (印)
電信案	第 四 八 號	本大臣發 上海宛電報	第 一 八 號	發電係 三	
				昭和 4 年 4 月 11 日 起草	
外務省	(總番號第 號別紙訂正ノ通文)	記録件名	發 外務大臣	電信係 (印)	
				電信係 (印)	

(日本標準規格 B5)

REEL No. A-1184

0268

アジア歴史資料センター

秘

昭和十七年四月十三日午後

廣東省 四月十三日午後
本省 十三日夜
歐、亞

東郷外務大臣

高橋總領事

第三〇七號

(敵國人引揚ケ船崇山丸食事ニ關スル件)

往復第三〇五號ニ關シ

崇山丸食事ハ和食ナル處敵國人ヨリ洋食配膳方懇願アリ端西領事
亦和食ハ彼等ノ堪^エ得サルヘキ旨屢々申述フル所アリ已ムヲ得ス
東頭海運ヲシテ最低費一日四圓ヲ以テ各等トモ一律ニ洋食ヲ配膳
セシムルコトトセリ其ノ結果規定食費(一等三圓二等二圓三等九
〇錢)ヲ超過セル次第ナルニ付テハ右御了承ノ上同社本社ヨリ船

電信寫

實請求アリタル時ハ可然細配慮アリ度シ

厦門、汕頭へ傳電アリタシ

交換

秘

昭和17 五三一四三 略

上海 四月十三日午後
本省 十三日夜着 歐

東郷外務大臣

堀内總領事

第八二一號

(外交官等交換ニ關スル件)

貴電第四八〇號ニ關シ

一、二、トモ貴電ノ通りナリ但シ *Postag* ハ雇ナリ爲念

電信寫

秘

昭和17 五三一四三 略

汕頭 四月十三日午後
本省 十三日後着

東郷外務大臣

高井領事

第四七號

(外交官等交換ニ關スル件)

廈門發本官宛電報第一〇號ニ依リ結局當地ヨリハ位ニ七名分(壹
地東亞海運ヘノ入電ニ依ンハ六名)ノ制當トナル處被送還者ニハ
八日以降待機センハ居ルヲ以テ何トカシ乗船セシメ度キ處明十三
日ノ入(港)ヲ俟テ中甲板ノ利用竝ニ中甲板利用者ニ對スル待遇
ノ改良等更ニ東亞海運トモ打合セ豫定通り送還致度キ所存ナリ尙
出港ハ十四日ノ豫定
上海ハ四月十三日午後

電信寫

秘

昭和V、五三一四七 略 上海 四月十三日後發 歐
本省 十三日夜着

東郷外務大臣

堀内總領事

第八二〇號

(在上海米國外交官領事官ニ關スル件)

貴電第四六八號ニ關シ

L、O、ハ海軍武官事務所書記ナリ往電第八〇九號御奉照アリ度

シ又 J.W. Deata (No. 137) & Mrs. Deata ノ夫ニシテ上海電話會社書記

ナリ尙米國領事館 U.S. Cons. for China ノ部 U. Mrs. Amy Dodge, Clerk

(No. 83) ア御記入アリ度シ(丁)

電信寫

外交官ニ付
小文ありて付
換

外機密

五三一三八 (一稿)

上海 四月十三日 午後 五時 正
本省 十三日夜

東京外務大臣

堀内總領事

第八〇九號

(上海駐在總領事人中之被引揚ニ関スル件)
當地憲兵ニ於テハ目下押留中ノ敵國人ノ中左記七名ヲ除ク英人
十六名印度人二名ヲ米國人十六名ヲ今次交換引揚ニ加ヘシムル爲
特ニ釋放ヲ行フコトヲ決定セル處ニ内英人一名十一日釋放セリ
當地ヨリノ引揚人員ハ目下ノ所着實有テ 〇九號ノ前日外交官領
事官ニ決定セラレ居リ且是等釋放者ノ引揚順位ハ新聞記者及赤十
字代表ニ次グヘキ關係上實際引揚ニハ必ス之ヲ參加シ得サル儀ナ

電信寫

ル次第ナルニ付テハ當地ヨリ引揚ヲ許可セ得ヘキ却官吏ノ數(英
米別)決定次第至急回電相煩度

記

一英人

(一)「ランドヘッド」(評論家)：軍事ニ關スル流言蜚語

(二)「アランド」(ウエイムズ)：(船舶機士)：軍事違反

(三)「フアブリユ」：「ジー」：「クラーク」(私立探偵)：對日各種

諜報蒐集

二米人

(一)「オツバー」(Evening Post) 主筆：對日軍事諜報蒐集

(二)「ツィグツド」(「ス」石油會社支那人)：右ニ同シ

外機密

電信寫

(三)「エム、シー、ロー」(支那系米商人)の「
書記」(對日各種情報蒐集)
(四)「シエ、イ、ジ」、ジャックソン(米國海軍士官)の對
日各種情報蒐集
尚以上ハ嫌疑明カナルヲ以テ何レモ近ク事件送致ノ決定ナル
也ナリ

秘

電信寫

昭和17、五三一六〇 略 上海 四月十四日後發 歐
本省 十四日後着
東郷外務大臣
第八二九號
(引揚英米人到着ノ件)
本官發青島宛電報第二六號
貴電第三五號ニ關シ
芝罘引揚英米人一行二十七名十三日無事到着夫々「ホテル」ニ收
容セリ
大臣、南大、北大、厦門、威海衛へ轉電セリ

外機密

昭和17

南京 四月十一日 前發
本省 十一日 前着
亞

東郷外務大臣

日高代理大使

在支「ブラヂル」國外交官領事官取扱振ニ
關スル件

貴電合第六〇六號未着ニ付御取調ノ上何分ノ御同電アリタシ

電信寫

外機密

昭和17 五三一七七 暗

張家口 四月十四日 後發
本省 十四日 夜着
歐

東郷外務大臣

渡邊總領事

第一〇四號

歐性國籍支那機關官公吏、在留民ノ歸國
希望者數照會ノ件

往電第八八號ニ關シ

其ノ後駐察軍ニ於テハ北支方面軍ヨリノ指令ニ基キ蒙疆地區内敵
國人（英米人以外ヲモ含ム）宣教師（「カソリツク」ヲ除ク）全
部ヲ五月下旬ノ第一次船ニテ歸國セシムルコトトナリ目下手配中
ナルカ人員ハ五〇名ヲ突破スル趣ナリ
北大、上海、在蒙疆各公館長ヘ轉電セリ

電信寫

秘

昭和 五三一六四 略 漢口 四月十四日後援
本省 十四日後着

東總外務大臣

田中總領事

第一一三號

(米英トノ外交官交換ノ件)

貸記合第五二七號ニ關シ

交換敵國人ノ持出金一入千圓ハ出帆港ヨリ「ロレンソマルゲス」
ニ到ル迄ノ費用ニシテ當地在住敵國人ニ關シテハ上海到着及同地
滞在中ノ費用ハ右ニ包含セラレサルモノト了解スル處當地ヨリノ
持出金(右千圓以外)ニ關シテハ適宜制限ヲ加ヘ差支無キヤ御同
電ヲ請フ(了)

電信寫

外務省
文書

公領祕第二四二號

昭和十七年四月十四日

在哈爾濱

總領事 久保田 貫一郎

在滿洲國

特命全權大使 梅 津 美治郎 殿

在哈敵國領事ノ近況ニ關スル件

在哈米、英、白、蘭領事官ハ近ク交換ノ爲内地ニ護送セラルルコト
トナリタル爲本官果物籠ヲ土産ニ九日米領事館、英領事館ヲ十日白、
蘭領事館ヲ往訪見舞タルカ各館トモ荷造リニ忙殺ノ態ナリシモ米領
事「ゴーシー」、米副領事「エトワード」、英總領事「アーチャ」、

外務省

(日本標準規格B5)

英副領事「レッドワード」、白總領事「ウーエ」、蘭領事「ヴァン、
デン・ホーヴエン」何レモ元氣ニテ軟禁前ト殆ト變リナキ様子ニ見
受ケラレタリ只白總領事「ウーエ」、蘭領事「ヴァン・デン・ホー
ヴエン」ハ多少以前ヨリモ神經質トナリ警察官ノ態度ニ二三不平ヲ
竝ヘ居タリ

特ニ米領事ハ至極朗カニテ會遊ノ地「ローレンツ・マルケス」ヲ語
リ日本ハ相次テ勝利ヲ舉クト述ヘ英總領事ハ「コンナ惡イ戦争」ハ
早ク終リ御互以前ノ様ニ愉快ニ交際出來ル日ノ到來ヲ待ツト述ヘタ
リ

本官ハ白國總領事ノ質問ニ應シテ「ハワイ」海戰ノ模様ヲ説明セル
以外全然普通ノ挨拶ニ止メタリ

外務省

(日本標準規格B5)

右何等御參考迄報告申進ス
本信寫送付先 外務大臣

外
務
省

(日本標準規格B5)

REEL No. A-1184

0277

アジア歴史資料センター

秘

昭和17 五三一八五 略

上海 四月十四日後發
本省 十四日夜着 歐

東郷外務大臣

堀内親領事

第八三九號

(在上海米國外交官領事官ニ關スル件)
資電第四六八號ニ關シ

御照會 / Mrs. Dean

/ 夫

C. J. Dean

ニ付テハ往電第八二〇號報告

/ 通リナル處 Mrs. Dean

/ 父

I. W. Rogers (追加表 101531) / 元會

社員ニシテ現在無職ナリ爲念

(下)

電信寫

秘

昭和17 一〇四二八 略

杭州 四月十五日、後發
本省 十五日後着 歐

東郷外務大臣

田中領事

第二九號

(敵性國籍支那機關官吏吏在留民ノ歸國希望者)
數ノ件

往電第二〇號ニ關シ

其ノ後五名増加左ノ通リトナリタリ

米國人男一、女三、英國男二、女二

上海へ轉電セリ

電信寫

外機密

東郷外務大臣

第三六二號

土田 参事官

北京 四月十五日 發
本省 十五日 夜着

(外交官事務局 訓令ニ付)

一、貴局第二六五號ニ訓シ

(イ)「コック」ノ姓ハ元來河北省成縣ニ於テ布政ニ從事シ居リタル尼僧ナルカ戰争勃發當時ノ病氣療養ヲ爲「コ」ノ姓ニ寄リシ居リスル處當時知縣ヨリ同人ヘ「コ」ニ於テ疾病ノ全責任ヲ有スルニ付領員家族トシテ取扱ヘレ度キ旨申出タルカ其ノ後我方ニ於テ宣教師ヲ迫害シ居ラサルコト判明スルヤ復

電信寫

カニ北京宣教師團體ニ復歸シ度キ旨申出タルモノ同人ハ新教派ナルヲ以テ此ノ際送還スルコト得續テ經メ斯ル勝手ナル申出ハ認メ難シト「コ」ノ姓ル次第ニテ又「コ」ヨリ同人妻目下患病ニテ入院重應ニ付交領引揚送ニ處置不可能ノ節ハ要共續留シ度キ旨申出アリ

(ロ)「シェーベン」ノ子供 Beauchin (男、生後四ヶ月) Foscale

(女二歳)ヲ追加、白耳義大使ノ子供

Afome John Yeater

ハ「Foscale」ニ訂正ス尚「シェー」ニ女中無ク大使ノ從者(家

庭教師和蘭人)

Miss Betty Southorn

(三十六歳)ヲ追加ス

(イ)白耳義外交官ハ豫テヨリ熱心ナル「カソリック」信者ナル爲船中「カソリック」信者同伴ヲ希望シ居リ留費電報ニ天達

外機密

發大臣宛電報第五八號ノ一ニ關シテハ當地ニ於テモ白耳
傳ヨリ十一日附ヲ以テ大使館牧師トシテ認メラレ度キ旨申出
テタルカ許可差支ナキヤ

天津發大臣宛電報第一五八號ノ二及廣東發大臣宛電報第二九三
號ニ關シ

支那人及白婦人ノ同伴ニ付テハ往電第三〇ノ條ヲ以テ照會シ
タル通り注シ、際本國ヨリ同伴シタルカ如キ特殊事情ナ
ル三國人ノ同伴スラ許可セラレサルニ對シハ往電第二六〇號
當館ニ於テハ當初ヨリ問題ナラスト認メ白々發及信義ヨリ照
會アリタルカモ拒絕シ居レリ爲念

電信寫

三發電第二七一號ノ趣旨ニ依リ當地英大使館電信機
M.H.S.

CHINA

(四十三號)

M.H.S. C. C. Veljamen

(三十四號)ヲ追加ス

南京大使、上海總領事、天津ニ轉送ス

外機密

昭和17 五三二四一

北京 四月十五日午後五時
本省 十五日午後五時

東郷外務大臣

土田参事官

第三六八號ノ一

(英米外資官交換ノ件)

往復第三一七號末段ニ附シ

當地方面至ハ十二日附テ以テ敵國及新交國入交ニ讀メテ各兵
團ニ對シテ該當者ノ引揚準備命令ヲ發シタルカ以テ要領ハ察時
頗覺難シノ外初制方針ト同様ナルモ其ノ内容意ハハキ點左ノ通り
ナルニ付北支各公債ニ於テ現地軍費ト協力ノ上然ルヘク籌畫スル
コトト致電シ

電信寫

一被交機密ノ現住所ヨリ上海ヘノ機密開始日及要領ハ別ニ指示
ス

二新教員教師ハ其旨代リ工部必要トスル者ノミヲ選任セシメ其
ハ他ノ者ハ此ノ際全額離職セシム(了)

文様

外機密

昭和17 五三二三八 暗

北京 四月十五日發
本省 十五日發

附

京總外務大臣

土田參事官

第三六八號ニ

三、抑留者ハ此ニ限出來得ル限リ歸國セシメ引續キ抑留ノ限アル者
ハ除外スルコトスルモ除外者ノ人名並ニ理由ヲ報告スルニ
四、引揚不在者時ニ對スル措置ニ關シテハ別ニ指示スルモ違當リ
軍管理トス但シ動産ノ中軍ニ於テ必要トスル以外ノモノハ適宜
處分セシムベキナリ

電信寫

五、與地居住者ノ集合ニ關シテハ既ニ於テ然ル可ク便宜供與スルモ
上海ニ於テ乗船シ切ラザルモノハ同地ニ滞留セシムルコトナ

六、上海ニ集結セシムル者ノ國籍別氏名年齢男女別職業等ヲ報告ノ
コト

七、其ノ他ハ外務訓令ノ通り

附六、上海、在北支各公館長、在滬各公館長ハ轉電セリ

秘

昭和五 五三三三三 略

南京 四月十五日午後發
本省 十五日夜着

東郷外務大臣

澁澤總領事

第八八號

（敬國宣教師引揚ノ件）

本官發上海（一）宛電報

第五六號

貴國第六九號ニ關シ

別附式地「オノジスト」教會本部ニ傳達ノ上結果立派アリタシ

電信寫

外務省
四月十五日午後發

電信寫

昭和五 一〇五一八 平

南京 四月十五日午後發
本省 十六日午前着

東郷外務大臣

澁澤總領事

第九〇號（別電）

本官發上海宛電報

第五八號

It now seems advisable for me to accept repatriation offer so you approve

SECRET

秘

昭和17 五三二九三 略

廣東 四月十六日後發
本省 十六日夜着

歐

東郷外務大臣

高津總領事

第三一六號

保科 9/12

(外交官等交換ニ關スル件、在廣東和蘭名証領事)

貴電第二三九號ニ關シ

「ウイリシク」ハ客年十二月六日澳門向當地出帆葡萄牙船ニテ妻

同伴同地ニ赴キタリ

右ハ香港經由瓜哇ニ引揚ケルニアリタルヲ以テ香港渡航前戰爭ニ

遭遇其ノ儘滞在ノ餘儀ナキニ至リタルモノナルヘシ(了)

電信寫

交換

外機密

昭和五 五三二八〇

上海 四月十六日午後 原 亞
本省 十六日夜着

東郷外務大臣

堀内總領事

第八六一號

(外交官等交換引揚者ニ關スル件)

本官發南大、漢口、北大、天津、廣東、廈門、汕頭、青島、濟南
威海衛宛電報

合第三五〇號

外交官等引揚ニ關シ當方留台少ク收容方ニ付苦心シ居ル處右準備
ノ必要有之ニ付テハ實地發當地向該送ノ被交換者ノ国籍及官吏非
官吏別且男女及子供(十五歳以下男女ニ別テ)別數判明次第至急

電信寫

御同電相成度シ

大臣へ特電セリ

外交官等交換引揚者ニ關スル件

祕

昭和17 五三二六七

南京 四月十六日 後發
本省 十六日夜着

東郷外務大臣

澁澤總領事

第九二號

(長老會米宣教師引揚ニ關スル件)

本官發上海宛電報第六〇號

各地長老會宣教師同様籌縣在住長老會米宣教師 Mrs. Mabel Jones

引揚セシメ度ク貴地教會本部ヨリ引揚船費變出方然ル可ク御

取計相成リ結果御同電請フ

大臣へ轉電セリ

電信寫

文書部
文書

秘

電信寫

昭和Ⅱ 五三二七三 塔 油頭 四月十六日發
本省 十六日夜着

東亞外務大臣

高井領事

第五一號

(外交官等乘便ニ關スル件)

往還第四七號ニ關シ

送還費用左ノ通り

一、一等二名(一人ニ付八五圓)一七〇圓

二、二等大人二十九名(八一二圓)

三、三等子供四名(一四圓)五十六圓

合計一〇三八圓

尙食事ハ東京同様一率ニ一日四圓トセルヲ以テ右諸費以外ニ關シ
アルヘキヲ以テ附録次第上海ヨリ吉田書記生ヲシテ電報セシム

(丁)

秘

電信寫

電報 五三二七四

略

汕頭

四月十六日

午後發

歐

東京外務大臣

高井領事

第五二號

一外交官及歐國人送還ノ件

當地歐國及歐國人三六名ヲ十五日由港ノ綠山丸ニテ上海ニ
ス尤モ船室ハ廣東ヨリ七二名ノ乗船アリシ上廈門ノ分割者ノ必要
モアリ當方船客僅少トナリ同船ノ設備ニハ收容シ切ナルヲ以テ
發送者ニ對シ船中事情ヲ納得セシメタル上英領事吏ケハ
等他ハ三等(大部分ハ中甲板ニ置テ收容セリトセルニ付御意ヲ
請フ
芝罘ニ上海ニ轉電セリ

秘

昭和五 五三三〇二 略 上海 四月十七日發 通、照、
本省 十七日發着 照

東郷外務大臣

堀内總領事

第八六七號

一、引揚敵國外交官等ノ持出金ニ關スル件

敵國外交官等ノ持出金ニ關シ

持出金ノ引揚ニ付テハ金一千圓又ハ之ト等價ナル外貨トナリ居ル

外貨特ニ米穀及砂糖等ノ除居地ニテ適用サルヘキ圓價換算率

ハ内地ノ圓率トスヘキコト適當ト認メラルニ付テハ東京決定ノ石

換算率至總領事館アリタリ又持出シ外貨ハ船内ニ於テ右換算率ニ

テ使用ヲ認メラルモハル思召シ差支ヘ低キヤ圓價換算率

電信寫

尙當地引揚者ノ持出金ハ主トシテ軍票ナレハ船内ニ於テ日銀券ト
同様之カ使用ヲ認メラルル限細則按指成セシム

秘

昭和17

五三三二一

略

廣東 四月十七日發
本省 十七日發着

歐

東郷外務大臣

高岸總領事

第三二六號

(外資官等交換ニ關スル件)

歸國ヲ欲スル英米人尙約七十五アリ之等ハ市外ニ居住シ居ル等並
々ノ事情ニテ英ノ崇山丸ニ關ニ合ハス後廻シトナレルモノナルカ
貴電合第五二八號第一項ニ依レハ中國及佛印在留英米人ハ原則ト
シテ第一次交換船ニ依リ全部引揚ケシムルコトトナリ居リ英及瑞
西領事ヨリモ希望被シ居レルヲ以テ當方トシテハ之等在留者ヲ五
月上旬ノ便船ニテ上海向通加鹽送シタキ應便船ハ貴電合第六六八

電信寫

號ノ通り三隻共既ニ夫々收容者決定セラレ居ル此ノ際右三隻ノ制
込ミハ困難ト思料セラルルニ付テハ他ニ一隻說船方御配慮願同殿
キヤ何分ノ便同電アリタシ
上海、廈門、汕頭へ專電セリ

イタナリ文様

秘

昭和十七年五月十七日 廈門 四月十七日午後

本省 十七日夜着

東郷外務大臣

石川鶴領事

第九九號

(發留敵國人便乘ニ關スル件)

崇山丸(當地ヨリ米國人一〇(男七女三)英國人五(男四女一)
和蘭人一(男)計一六ヲ收容シ本十七日出港セリ當地被交候敵國
人殘留者四八上海迄送還ヲ希望スル敵國人五(中一名ハ敵國人ニ
寄寓中ノ白系婦人)計五三トナリタル處右五三名ヲ一時ニ乗船セ
シメ度キニ付青龍合第六六八號及第六七〇號御察示ノ三船中ヨリ
第一船ヲ御指定相成リ度シ
等ハ轉送セリ

電信寫

秘

昭和十七年五月二十九日 略

包頭 四月十七日午後
本省 十七日午後

東郷外務大臣

濱田副領事

第一六號

(敵性國籍支那國民百公吏、在留民、捕虜希望者)
前照會ノ件

青龍合第五一六號ニ關シ

當領館内ニ於ケル敵國友邦交關人員ニシテ捕虜ヲ希望スル者無シ

電信寫

LEGATION DE SUISSE
AU JAPON
EE. 5.2.3.-ce.-

Tokio, le 27 avril 1942.

歐
亞
局
長

第三課長

九

Monsieur le Ministre,

Par ma lettre No. EE.3.1.ce du 20 février, j'ai eu l'honneur de communiquer à Votre Excellence les noms de sept fonctionnaires appartenant au personnel diplomatique et consulaire des Etats-Unis d'Amérique au Manchoukouo.

Par une autre communication No. EE.3.1.ce, du 24 février, j'avais demandé à Votre Excellence, s'il serait pas possible de consulter les chefs des anciens Consulats Généraux des Etats-Unis d'Amérique à Kharbine et à Moukden en vue d'établir le nombre exact des officiels et non-officiels américains à rapatrier.

Or, il semblerait, d'après la lettre No.57/Al de Votre Excellence, en date du 21 février, que 21 personnes se trouveraient à l'ancien Consulat Général à Kharbine et sept à l'ancien Consulat Général à Moukden.

Je vous saurais, dès lors, le plus grand gré de consentir à me faire savoir, si possible, les noms de tous les fonctionnaires américains au Manchoukouo qui devraient être rapatriés.



A Son Excellence
Monsieur Shigenori T o g o
Ministre des Affaires étrangères
T o k i o .



REEL No. A-1184

0292

アジア歴史資料センター

瑞西公使	大	4月27日	日附
在滿・米国外交官の領事官・関税官 名			

ril 1942.

歐
亞
局
長

Monsieur le Ministre,

Par ma lettre No. EE.3.1.ce du 20 février, j'ai eu l'honneur de communiquer à Votre Excellence les noms de sept fonctionnaires appartenant au personnel diplomatique et consulaire des Etats-Unis d'Amérique au Manchoukouo.

Par une autre communication No. EE.3.1.ce, du 24 février, j'avais demandé à Votre Excellence, s'il serait pas possible de consulter les chefs des anciens Consulats Généraux des Etats-Unis d'Amérique à Kharbine et à Moukden en vue d'établir le nombre exact des officiels et non-officiels américains à rapatrier.

Or, il semblerait, d'après la lettre No.57/A1 de Votre Excellence, en date du 21 février, que 21 personnes se trouveraient à l'ancien Consulat Général à Kharbine et sept à l'ancien Consulat Général à Moukden.

Je vous saurais, dès lors, le plus grand gré de consentir à me faire savoir, si possible, les noms de tous les fonctionnaires américains au Manchoukouo qui devraient être rapatriés.

A Son Excellence
Monsieur Shigenori T o g o
Ministre des Affaires étrangères
T o k i o .

課文
17.4.27
受 收

17.4.27

- 2 -

En remerciant d'avance Votre Excellence de
son obligeante réponse, je saisis cette occasion de
vous renouveler, Monsieur le Ministre, les assurances
de ma très haute considération.

Le Ministre de Suisse:
E. G. J.

REEL No. A-1184

0294

アジア歴史資料センター

秘

昭和17 五三三五〇 昭 厦門 四月十八日 前發 歐

本省 十八日 發

東郷外務大臣

今城 總領事代理

第一〇〇號

(要領 販賣人 引揚者ニ關スル件)

本官發上海宛電報

第二七號

電台第三五〇號及本官發大臣宛電報第九九號ニ關シ

本十七日貴地向出發セル當地引揚者左ノ通米國、官更二(男大人)

非官吏八(男子供四、女大人二、女子供一ニテ二家族他ニ男大人二)

英國、官更三(男大人)非官吏二(夫婦)

電信寫

和蘭、非官吏(男大人二)

總計一六

留次ノ便給ニテ送還スヘキ者左ノ通

米國、非官吏三(男大人二、女大人一何レモ單身者)

英國非官吏三四(男大人一一、內單身者四男子供五女大人一二、內單

身者四女子供六ニシテ家ヲハナリ)

印度、非官吏(男大人八)

和蘭、非官吏(男大人三)

總計四八

右ノ外上海迄送還スヘキ五名ハ何レモ上海ニ身寄ヲ有スルモノナリ

大臣ハ轉電セリ

東郷外務大臣

秘

昭和17 五三三六八 略

上海 四月十九日前發
本省 十九日前着

歐

東郷外務大臣

堀内總領事

第八八八號

(崇山丸乗船ノ敵國人外交官等内譯ニ關スル件)

廣東發本官宛電報

第一〇二號

貴電合第三五〇號ニ關シ

十二日崇山丸ニテ貴地向ケ輸送セラレタル敵國人名錄ハ同船乗込

ミ當館發察官ヨリ貴方ヘ交付スヘキ答ナルカ冒頭貴電ノ次第モア

リ其ノ内譯左ノ通り

電信寫

一、英國人

(一) 官吏七 (男六、女一)

(二) 準官吏三 (男二、女一)

(三) 非官吏四八 (男二六中子供四、女二二中子供五)

二、米國人

(一) 官吏六 (男五、女一)

(二) 準官吏一 (男)

(三) 非官吏七 (男四、女三)

大臣ヘ轉電アリタシ

外交官交換

秘

昭和十七年五月三十一日

略

漢口 四月二十日發達
本省 二十日發達

歐

東郷外務大臣

第一二二號

田中總領事

(敵國人交換ニ關スル件)

本官發上海總宛電報

第八三號

貴電合第三五〇號ニ附シ

當地發賣地向輸送ノ被交換者數左ノ通り

米、官吏男三、非官吏男二四、女一〇、子供男五、女七

計四九

電信寫

英、官吏男五、女二、子供女一、非官吏男五七、女四九、子供

男一二、女一五

計一四一

伯、非官吏男一

合計 一九一名

尙敵國人中歸國希望申出ノ後之ヲ取消スモノ又ハ新タニ歸國ヲ求

出ツルモノ等アリ未タ去就ニ迷ヒ居ルモノ十數名アル見込ナレハ

右數ハ多少増減スルモノト存セラルルニ付御會々置キテ請フ

大臣ニ轉電セリ

劉文輝

秘

昭和17 一一〇八七 略

威海衛 四月二十日午後
本省 二十一日前發

東郷外務大臣

廣田副領事

第一七號

(在留米英人數ニ關スル件)

本官發 (不明) 宛電報

第八號

實電第三五〇號ニ關シ

米人男一名女一名英人男六名女七名合計十五名何レモ非實吏子供

無シ

大臣へ轉電セリ

電信寫

秘

昭和17 一一一三〇 略

芝罘 四月二十一日前發
本省 二十一日夜着

東郷外務大臣

長岡領事

第八二號

(外交官等交換ニ關スル件)

實電第二九號ニ關シ

東亞海運當地出張所ニテハ鞍山丸ハ每航當地ニ寄港スル筈ナリト
稱シ居ルニ付出來得ル限り利用スル所存ニ付御了知ヲ請フ (了)

電信寫

外交部 (長岡領事)

外交部 (長岡領事)

秘

昭和十七年四月十四日 略

張家口 四月二十一日午後
平 省 二十一日夜
歐、原

東郷外務大臣

渡邊總領事

第一一三號

(蒙疆在留歐州人引揚ニ關スル學務打合ノ件)

本官殿在蒙疆各公館長宛電報

合第六四號

蒙疆在留歐州人ノ第一次引揚(四月十五日附合第一三九號往信參

照)ニ關シ學務打合セノ要アルニ付五月一日貴館係官ヲ當場ヘ出

張セシメラルル様致肥シ但シ管内ニ引揚者無キ場合ハ出張ノ要無

キニ付其ノ旨同日迄ニ周知アリマス

電信寫

本電宛先大同、厚和、包頭

大臣、北大(轉電セリ)

外務省
交換

秘

昭和17 五三四四〇 略

上海 四月二十一日後發 亞、歐
本省 二十一日夜着

東郷外務大臣

堀内總領事

第九〇五號

(長老會米國宣教師引揚ニ關スル件)

本官發南京(總)宛電報

第八〇號

實電第六〇號ニ關シ

左記ノ通り引揚許可方取付置キタリ

Mrs. Isabel S. Jones Shumshien Presbyterian China Council approves

repatriation when opportunity offered. Walline

大臣へ轉電セリ

電信寫

秘

昭和17 五三四四五 略

上海 四月二十一日後發 歐
本省 二十一日夜着

東郷外務大臣

堀内總領事

第九〇八號

(敵國人引揚希望者ニ關スル件)

本官發南總宛電報

第四二號

實電第五七號ニ關シ

當地長老會ニ於テモ「ミルズ」ノ實地殘留ヲ希望シ居リ同人ノ實

地立退必要ノ際ニハ往電第六九號ノ通り同人ヲ上海ニ滯留セシメ

度キ意圖ナリ

大臣へ轉電セリ

電信寫

本信送付先 鐵道省運輸局長、朝鮮總督府鐵道局長

外務省

(日本標準規格B5)

歐三普通合第六六一號

昭和十七年四月二十一日

外務省 歐亞局長

鐵道省運輸局長

朝鮮總督府鐵道局長

滿鮮在留敵國及斷交國人ノ引揚ニ關スル件

敵國トノ外交官領事官等交換ニ關スル協定ニ基キ交換船ニ乗船セシムル爲敵國及斷交國人ニシテ滿洲ニ在ル者約百五十名及朝鮮ニ在ル者八拾四名ヲ近ク本邦ニ集結スルコトナリタル處右輸送日取等確定セル際ハ直ニ御通報致スヘキニ付列車増結其他適當措置方可然御配慮相煩度ク尙此等引揚者中領事官其他官吏ニ對シテハ其ノ持出荷物ニ付特ニ重量及個數等ノ制限緩和方併セテ御配慮相煩度此段依頼申進ス

外務省

(日本標準規格B5)

秘

電信寫

昭和五 五三四九七 略 上海 四月二十三日後發 歐 亞
本省 二十三日夜着
東郷外務大臣
第九三七號
堀内總領事

(敵國人被交換者上海到着ニ關スル件)
敵國人被交換者廣東七二、汕頭三六、廈門一六、計一二四名ハ二
十三日崇山丸ニテ當地ニ到着セリ
京一大、廣東、廈門、汕頭へ轉電セリ

秘

電信寫

昭和五 五三四九五 略 新京 四月二十三日後發 歐
本省 二十三日夜着
東郷外務大臣
第九二九號
梅津大使
(外交官等交換ニ關スル件)
貴電第三〇六號ニ關シ
往電第二四九號第三項ノ英國人中ニハ加奈陀人ヲ含マス

祕

電信寫

昭和17

五三五五

略

上海
本省

四月二十四日後發
二十四日後着

歐

東郷外務大臣

堀内總領事

第九三三號

(外交官等交換ニ關スル件)

汕頭吉田書記生ヨリ左ノ通り

汕頭發賣大臣宛電報第五一號ニ關シ

十五日汕頭發二十三日上海着食費超過額七二七圓也(了)

外交官交換

REEL No. A-1184

0304

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

昭和五 五三五二九 略 北京 四月二十四日發 本省 二十四日發 賦

東郷外務大臣

土田參事官

第三九八號

一北總管内敵國在留者歸國希望者ニ關スル件

實電合第五一六號及合第六六九號ニ關シ

一北京總領事館管内一般在留者歸國希望者左ノ通り

イ米國大人男五七、女四八

子供一十五歳以下一男二、女一

但シ内保定(石門兵團管下)居住者ニシテ石門管内在留民ト

共ニ歸國スル者男四、女二ヲ含ム

ロ加奈陀大人男二、女五

子供男二、女五

ハ英國大人男四〇、女四八

子供男一三、女一四

ニ和蘭大人男三、女四

ヒ希臘大人女一

フ諸國大人女二

三北總管内居住新義塾教師ニシテ歸國ヲ希望セサルモ我方ニ於テ

歸國セシメタキ者

イ米國大人男九、女二二(内保定居住女二ヲ含ム)子供三

ロ加奈陀大人男三女一子供二

ハ英國大人男六女一二子供二

ニ諸國大人男一カセ

2

REEL No. A-1184

0305

アジア歴史資料センター

祕

昭和17 一一五九〇 略

芝罘 四月二十四日接發 略、翌
本省 二十五日附船

東部外務大臣

長岡領事

第八七號

(教團人引務ニ關スル件)

本官發南京總領事宛電報

第四一號

貴電第一號ニ關シ

子供達ハ係メテ元氣ナルカ「ダ」ノ上海籍ノ須ヲ見計ヒ送附シタ

シト「コトナリ」右期日細回電ヲ請テ留當館トシテハ五月上旬當地

發、樂山丸ニ他ノ引務諸種者ノ送附シタキ意圖ニテ本件子供達ヲ

電信寫

モ同船セシメ得レハ好都合ナリ

大臣、北大、上海、青島へ轉電セリ

秘

昭和17 一五九八 略 里斯本 四月二十四日午後發 歐
本省 二十五日前着

東郷外務大臣

千葉公使

第三四〇號

(外交官領事官交換ノ件
邦船ニ對スル水、食料品供給ニ關スル件)

往電第六七號ニ關シ

冒頭往電我方申入ニ對シ葡萄牙外務省ハ二十三日附公文ヲ以テ葡
萄牙政府ヘ「ロレンソマルケス」ニ於テ英帝國及其ノ同盟國內居
住日本官吏及其ノ同盟國官吏及人民トノ交換ヲ保障 *Garantir* スル
コトヲ受諾)スル旨回答シ但シ之カ前提トシテ交換ニ關スル正確

電信寫

ナル條件ヲ承知シ度キ旨ヲ申越セリ就テハ之カ回答振リ御同電ヲ
請フ(了)

外機密

昭和17 一一六三五 暗

盤谷 四月二十五日午後發
本省 二十五日夜着

歐

東郷外務大臣

石井代理大使

第七六二號

(「タイ」國在留敵國人ノ歸國費用ノ件)

當國在留歸國希望者ノ歸國費用ニ關シ米人並ニ永住民ヲ除ク英人
ニ付テハ當國政府トシテモ相互主義ニ基キ盤谷ヨリ交換地迄ノ費
用ヲ負擔スル意圖ナルカ英國永住民並ニ和蘭、諸威、白耳義三國
ノ官吏、非官吏ニ付テハ相互主義ノ適用無ク(右三國ニハ當國ノ
外交官モ在留民モ無シ)從テ當國政府ハ右歸國費用負擔ノ意圖無
キ趣ナル處日英間交換協定ニテハ歸國費用ニ關シ如何ナル了解

電信寫

リヤ何分ノ儀御同電アリタシ

和蘭、白耳義兩國人ノ歸國費用決濟地ハ東京、盤谷何レノ地ニス
ル意圖ナリヤ當地在瑞典領事ノ照會アリタレハ何分ノ儀御同電ア
リタシ尙歸國希望者ノ參考ノ爲一人當リ歸國費用ノ概算ヲモ御同
電アリタシ(了)

外機密

交換

昭和17年一月六日四時

暗谷

四月二十五日午後

東郷外務大臣

石井代理大使

第七五七號

(在「タイ」敵國人引揚ニ關スル件)

往電第三九四號ニ關シ

外交官等ノ西貢ヘノ輸送ニ關シ其後「タイ」側ハ「タイナビゲーション」船ヲ借用シ輸送ニ充ツヘク考慮中ナルモ該會社所屬船舶ハ何レモ百六十人内外ノ収容ノ能力ヲ有スルノミニテ一括輸送困難ニシテ警戒其他不便アル上西貢ニテハ一切第三國船舶ノ出入ヲ禁止シ居ルニ付左記方法ニ依リ五月末日迄ニ西貢ニ到着出來

電信寫

海軍省地方部手配アリタシ

一五月中旬以後盛谷發ノ日本船(定期船又ハ不定期船又

軍用船)ノ内通營ナルモノヲ選定シ營地ヘ運搬セシメラレタ

ク右船舶ニ關シテハ營地ニテ決定スルハ不可能ニ付海軍省海務

院等トモ御打合せノ上御指示相成度シ

二「タイ」側ニ於テ佛印船ヲ輸送スルコトハ不可能ナルニ付

佛印船ノ利用ヲ希望セラルルナテハ海軍ニテ費用セル佛印船中

適當ナルモノノ配船方海軍ト御打合せアリタシ

三西貢ニ轉送セリ

秘

昭和17 一一七五〇 略

太原 四月二十六日後發 歐
本省 二十七日午前

東郷外務大臣

田中總領事

第六二號

(引揚敵國人ニ關スル件)

本官發北大宛電報

第五七號

本官發大臣宛抽電第六一號ニ關シ

當館ニテハ五月七日迄ニ引揚者全部ヲ當地ニ集合セシメ館員附添
ヒノ上貴方へ送致致度キ處差支ナキヤ尙右ニ關シ御氣附ノ點アラ
ハ折返シ御同電請フ
大臣ハ轉電セリ

電信寫

秘

昭和17 一一七四九 略

太原 四月二十六日後發 歐、亞、人
本省 二十七日午前

東郷外務大臣

田中總領事

第六一號

(引揚敵國人人名表送付ノ件)

貴電合第七二一號ニ關シ

目下確定セル敵國人及斷交國引揚者米國男二女一四諸威男三女五
計二四人名表郵送ス猶必要ニ應シ小森副領事ヲ隨時現地ニ出張セ
シメタキニ付御承認相成タシ
北大へ轉電セリ

電信寫

秘

電信寫

昭和17 一一七七四

青島 四月二十七日 夜

歐

東郷外務大臣

高津總領事

第一八三號

(歐陸國籍支那機關官吏在留民ノ歸國希望者數
照會ノ件)

往電第一四八號

其ノ後引揚希望者數左ノ通り總計百四十五名ニ増加セリ人名表郵
送ス

一、英國人七八名

(1)領事館員變更ナシ

(2)宣教師及一般在留民

男一八、女二五、子供男三女六

(3)會社員ニシテ本社ノ決定ヲ待チ居ル者

男一〇、女五子供男一女一

二、米國人五一名

(1)領事館員變更ナシ

(2)宣教師及一般在留民

男二四、女一三、子供男四女六

三、和蘭人二名

男一女一

四、希臘人六名

男三、女二、子供男一

2

外交文庫

祕

電信寫

五白耳義人四名

男一、女一、子供男二

六詣威人四名

男三、女一

北大、天津、南大、上總、濟南へ轉電セリ

祕

電信寫

昭和17 五三五八六 略

南京 四月二十七日 夜發 略、亞
本省

東郷外務大臣

第一〇〇號

本官發芝罘宛電報第二號

貴電第二號ニ關シ

貴地引揚者ト同船ニテ引揚ケシメラレタシ

大臣、北大、上海、青島へ轉電セリ

外交事務交換

秘

電信寫

昭和四 五三六一五 略 北京 四月二十八日後發 本省 二十八日夜着 駄

外務大臣 土田參事官

第四〇八號

(北支各地ヨリノ引揚者ニ關スル件)

本官發太原宛電報

第四一號

貴電第五四號ニ關シ

北支各地ヨリノ引揚者ノ輸送経路及日取等ニ付テハ軍側ニ連絡協

議中ナルカ軍側ニ於テハ北支各地ヨリノ引揚者全部ニ關スル報告

ヲ後チ各地兵團ニ指令致度シトノコトナルニ付貴館方針決定ハ夫

レ迄留保シ置カレタシ

大田、在北支各公館長、在蒙疆各公館長へ傳電セリ

外交省文庫

秘

電信寫

昭和17 一八五 略

東郷外務大臣

第一八五號

青島 四月二十八日夜發
本省

高瀬總領事

(敵性國籍支那機關公吏在留民ノ歸國希望者)
往電第一八三號ニ關シ

同電(四)中ニハ加奈陀人男ニ女ニヲ含ム
上海へ轉電セリ

電信寫
(郵局)

REEL No. A-1184

0314

アジア歴史資料センター

秘

昭和17 五三六二三 略 廣東 四月二十八日 發 本省 二十八日 發 歐

東洋外務大臣 高津總領事

第三五〇號

(外交官等ノ交換ニ關スル件)

貴電第二四九號ニ關シ

第二次上海向當地敵國人ハ瑞西領事ノ希望ヲ參酌シ單側ト連絡ノ上絕對ニ本國歸還ヲ欲セサル宣教師等ヲ除外ノ結果六二名ト確定セル處其ノ内詳左ノ通り

一、英國人二二名(男一六內子供三女六內子供二)

二、米國人三三名(男一六內子供六女一七內子供四)

電信寫

三、諸威人三名(男一「子供一女一」)

四、「サルバドル」人三名(男一女二)

五、中國人一名(男、英國總領事從者)

上海、廈門、汕頭へ轉電セリ

外務省交換

秘

昭和17 五三六〇二 略

廈門 四月二十八日後發
本省 二十八日後着

東郷外務大臣

石川總領事

第一〇九號

(在廈門敵國人ノ上海向輸送ニ關スル件)

貴電第一〇六號ニ關シ

當地東亞海運ヨリ輸送未済ノ當地敵國人四八名ヲ全部崇山丸ニ乗
船セシムルコトニ東京本店ニ於テ本省ト打合済ノ旨連絡アリタル
處本船ニハ廣東ヨリ七五名汕頭ヨリ四名ヲ收容スルコトトナリ居
ル越ナルヲ以テ前同ノ如ク廣東ニ於テ後先的ニ全船室ヲ使用セラ
ルルナラハ二四名ノ婦女子ヲ含ム當地ノ囚八名ハ全部中甲板ニ收

電信寫

容セサルヘカラサルニ至ルヘク右ハ當館トシテハ見ルニ忍ビサル
次第ナルニ付右ノ通牒船御決定ノ際ハ一、二、三各等船席ノ半數
ヲ當方ニ配分方御指定相成度シ

尙右輸送ニ際シ當館ヨリ書記生、醫部各一名偕乗セシメタキニ付
御承認請フ

上海、廣東、汕頭へ電セリ

外務省文書

秘

昭和17 五三六五七 路

廣東 四月三十日 夜
本省 三十日夜

歐

氣郷外務大臣

高津總領事

第三五七號

(崇山丸食料ニ關スル件)

瑞西領事ヨリ崇山丸食料ハ前同同様一往電報三〇七號参照一洋食

トセラレタキ當時ニ希望セタルカ東京運海通ニ準備方下命ノ要ア

ルニ付右差支ナキヤ何分ノ儀同電アリタシ

上海、廈門、汕頭へ轉電セリ

電信寫

外務省
高津總領事

REEL No. A-1184

アジア歴史資料センター

秘

昭和十七年五月二十六日

廣東省 四月三十日發報
本省 三十日發報

廣東省長公署

高澤總領事

第三五六號

一、在廈門僑國人ノ上海向籍進ニ關スル件ニ

廈門總領事大臣宛電報第一〇九號ニ關シ

汕頭、廈門ヨリ檢送スヘキ僑國人數目與置ノ通り五二名トセハ當

地ノ分六二名ヲ加ヘ計一四四名ニシテ右ノ内婦女子ハ當地三六名

一、汕頭不明ノ廈門二四名計六〇名ナリ

崇山丸ノ定員八〇名ニ過キサルモ廈門迄ハ一應當地全員ヲ各等船

室ニ割當テ得ルヲ以テ當方トシテハ問題ノ廈門若ノ上列子中強從

電信寫

者ヲ中甲板ニ移スヘキ旨總ト申付ケ而シテ標準ニ依リ不取敢名等

込マンメ船室ノ利用ニ付無欺ヲ省クト共ニ各地僑國人ノ待遇

上ノ公平ヲ期スルコトト致度ク在廈門領事館ニ於テ本船入港時ニ

於テ船長ト連絡ノ上然ルヘク措置方希望ス

上海、廈門、汕頭ヘ轉電セリ

秘

昭和17

一二〇五五

略

里斯本 四月三十日後發
本省 五月 一日前着

歐

東亞外務大臣

千葉公使

湯三四七號

(在支伯亞外交官團の方へ件)

當國外務省へ二十五日附公文ヲ以テ伯洲亞細亞政府ハ在北京及上海伯洲外交官及領事官ヲモテ本邦ノ書ト同時ニ米國船ニテ歸國セ
メ度テ意圖ナル旨通電セリ

電信寫

秘

昭和17

一二〇五八

略

青島 四月三十日後發
本省 五月 一日前着

歐

東亞外務大臣

高田領事

第一八八號

(歐性國籍支那機關官公吏在留民ノ婚姻希望者數照
會ノ件)

往電第一八三號ニ關シ

南電一、(四)加奈陀男一女二子、供男一女一増加ス人名認送ス
上海へ歸電セリ

電信寫

帰國せしむるに決意せしむるに付、當りて於てハ泰
 國側ニ在リ、然ルヲ希望ス。何レニスルニ泰英兩國間ニ
 米泰間、於てハ如ク交換協定を結ぶ、あるは泰側
 二、和蘭、諾威、白耳義三國人ノ帰國費用ニ関してモ
 泰國政府ヲシテ夫々ノ利益代表者ト直接交渉せしメ
 外、官立以外ノ官立ノ非官立ニ付、ハ費用負担

(分類)

電 信 案	外 務 省	貴電才七六二号ニ関シ 一日英向協定ニ於テ一日英臣氏ノ向ニ永住民 非永住民ヲ特ニ區別スルナク帰國希望者	暗 半暗	電送第 昭和十一年三月八日	15634 號	主管 秋亞局長
			第 五五八號	略和 午前八時十分發	宛 在泰 石井代理大使	件 名 歸國費用ノ件 外國在留敵國人ノ

アジア歴史資料センター

書主任渡シ

封函ハ
秋元閣後課長宛
トモウレラン

懸案

發信用		執務用	
主信	1	1	2
附	甲		
屬	乙		
	丙		
	丁		
備考			

文書課長

文書課發送日 昭和拾七年四月廿九日發達済

淨書

由中

正校(原稿)

(淨書)

主 歐亞局長

任 第三課長

昭和十七年 四月 二十日起草

大島

歐三 普通 第二 四〇 號

昭和拾七年四月卅日

日附 附屬 有 無

受 信 人 名

大島省

主 總 務 長

先付送寫

名 件 錄 記

歐本 次亞局長

件 名

在哈爾濱和蘭領事之便宜供與方依頼ノ件

今般在哈爾濱和蘭領事ノ家族ハ同地ノ引揚ケ

外交官等ノ交換船ノ出帆迄内地ニ留シ待機スル

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B 5)

ニトナリ 本月廿九日 哈爾濱ニ出帆シ 五月一日
下ノ関ニ到着スル 若ナルニ付テハ 同領事ノ家
族ノ所持金並ニ荷物ニ付シ 下関税関ニ於テ
何分ノ便宜供與方可一併配屬相酌度シ

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B 5)